



# 平成29年6月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年5月12日

上場会社名 一正蒲鉾株式会社

上場取引所 東

コード番号 2904 URL <http://www.ichimasa.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野崎 正博

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部長 (氏名) 滝沢 昌彦

TEL 025-270-7111

四半期報告書提出予定日 平成29年5月15日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成29年6月期第3四半期の連結業績(平成28年7月1日～平成29年3月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年6月期第3四半期	28,254	0.9	1,609	59.0	1,748	92.8	1,081	184.4
28年6月期第3四半期	28,522	2.2	1,012	23.9	906	4.0	380	29.7

(注) 包括利益 29年6月期第3四半期 984百万円 (532.6%) 28年6月期第3四半期 155百万円 (86.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年6月期第3四半期	58.52	
28年6月期第3四半期	20.55	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年6月期第3四半期	23,575	10,416	44.2	563.45
28年6月期	23,935	9,542	39.9	516.18

(参考) 自己資本 29年6月期第3四半期 10,416百万円 28年6月期 9,542百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年6月期				6.00	6.00
29年6月期					
29年6月期(予想)				6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成29年6月期の連結業績予想(平成28年7月1日～平成29年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,500	4.2	1,300	62.8	1,300	167.8	600	140.6	32.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年6月期3Q	18,590,000 株	28年6月期	18,590,000 株
期末自己株式数	29年6月期3Q	102,448 株	28年6月期	102,888 株
期中平均株式数(四半期累計)	29年6月期3Q	18,487,356 株	28年6月期3Q	18,509,912 株

(注) 期末自己株式数には、「資産管理サービス信託銀行(株)(信託E口)」が保有する当社株式(29年6月期3Q 37,500株、28年6月期 38,000株)が含まれております。また、「資産管理サービス信託銀行(株)(信託E口)」が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(29年6月期3Q 37,750株、28年6月期3Q 15,200株)。

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成28年7月1日～平成29年3月31日）におけるわが国経済は、政府の経済対策や日銀の金融政策の効果により、緩やかな回復基調にあるものの、新興国の景気減速の懸念やイギリスのEU離脱問題、米国の大統領選後の政策動向など、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く経営環境につきましても、生活防衛意識による節約志向や低価格志向は依然として根強く、消費者ニーズの多様化や価格競争の継続など厳しい状況が続いております。

このような環境のなか、当社グループでは最優先に取り組んでおります「安全・安心」な商品の提供を念頭にお客様の消費動向を捉えながら、効果的な販売促進施策の推進により売上高の拡大に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高282億54百万円（前年同四半期比2億67百万円（0.9%）の減少）、営業利益は16億9百万円（前年同四半期比5億97百万円（59.0%）の増加）、経常利益は17億48百万円（前年同四半期比8億41百万円（92.8%）の増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益は10億81百万円（前年同四半期比7億1百万円（184.4%）の増加）となりました。

当社グループにおけるセグメントごとの経営成績の概況は以下のとおりであります。

#### ① 水産練製品・惣菜事業

当セグメントにおきましては、7月にうなぎの蒲焼きをイメージした「うなる美味しさうな次郎」や2月末に新しい食素材の「サラダフィッシュ」を発売しご好評をいただいておりますが、9月の気温が平年より高く、残暑が長引いたことにより「揚物」・「竹輪」商品群が軟調に推移し、売上面においては前年同四半期を下回る結果となりました。

利益面におきましては、為替の影響等もあり原材料やエネルギーコストが低減したことに加え、効率化・合理化などのコスト削減に努めたことより、前年同四半期を上回る結果となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は245億14百万円（前年同四半期比2億97百万円（1.2%）の減少）、セグメント利益（営業利益）は11億31百万円（前年同四半期は6億20百万円のセグメント利益（営業利益））となりました。

#### ② きのこと事業

当セグメントにおきましては、夏から初秋にかけて全国的に高温が続き、野菜及びきのこ市場相場は低迷いたしましたでしたが、秋以降は天候不順の影響もあり野菜価格は高騰し、きのこ市場相場も堅調に推移いたしました。

このような状況のなか、安定生産・品質向上に努め継続的に販売促進を行った結果、売上高、利益ともに前年同四半期を上回る結果となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は33億85百万円（前年同四半期比42百万円（1.3%）の増加）、セグメント利益（営業利益）は3億59百万円（前年同四半期は3億2百万円のセグメント利益（営業利益））となりました。

#### ③ その他

##### (運送事業・倉庫事業)

運送事業におきましては、既存のお客様との取引深耕に加え、物流機能の効率化に努めた結果、売上高・利益ともに前年同四半期を上回る結果となりました。

倉庫事業におきましては、保管在庫量が低調に推移したことにより保管料収入が減少し、売上高は前年同四半期を下回ったものの、倉庫管理業務の効率化に努めた結果、利益は前年同四半期を上回る結果となりました。

以上の結果、報告セグメントに含まれないその他の売上高は3億55百万円（前年同四半期比13百万円（3.6%）の減少）、セグメント利益（営業利益）1億12百万円（前年同四半期は82百万円のセグメント利益（営業利益））となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 流動資産

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は65億84百万円（前連結会計年度末比2億54百万円の増加）となりました。これは主に季節的要因による売掛金の増加及び原材料及び貯蔵品の減少によるものであります。

② 固定資産

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は169億91百万円（前連結会計年度末比6億13百万円の減少）となりました。これは主に有形固定資産の減価償却の進行によるものであります。

③ 流動負債

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は76億21百万円（前連結会計年度末比8億92百万円の減少）となりました。これは主に支払手形及び買掛金及び短期借入金の減少によるものであります。

④ 固定負債

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は55億37百万円（前連結会計年度末比3億41百万円の減少）となりました。これは主に社債の減少によるものであります。

⑤ 純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により104億16百万円（前連結会計年度末比8億74百万円の増加）となり、自己資本比率は前連結会計年度末の39.9%から44.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年6月期の通期の連結業績予想につきましては、平成28年8月5日に公表した業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	861,539	1,188,136
売掛金	2,626,155	3,062,053
商品及び製品	622,472	483,715
仕掛品	597,832	347,088
原材料及び貯蔵品	1,478,574	1,194,890
その他	144,014	308,956
貸倒引当金	△568	△543
流動資産合計	6,330,021	6,584,297
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,781,913	6,522,337
機械装置及び運搬具(純額)	3,294,855	3,025,914
工具、器具及び備品(純額)	135,391	159,123
土地	3,296,749	3,267,127
リース資産(純額)	210,419	191,562
建設仮勘定	53,732	25,034
有形固定資産合計	13,773,061	13,191,098
無形固定資産	340,672	338,540
投資その他の資産		
投資有価証券	2,705,023	2,715,389
その他	810,845	771,041
貸倒引当金	△24,500	△24,500
投資その他の資産合計	3,491,369	3,461,930
固定資産合計	17,605,103	16,991,570
資産合計	23,935,124	23,575,867
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,854,181	1,335,488
短期借入金	3,777,972	3,165,806
未払法人税等	363,148	596,393
賞与引当金	60,100	239,154
未払金及び未払費用	1,374,024	1,449,376
その他	1,084,147	835,165
流動負債合計	8,513,573	7,621,383
固定負債		
社債	1,760,000	1,245,000
長期借入金	3,091,333	3,308,146
役員退職慰労引当金	52,554	55,914
役員株式給付引当金	10,613	30,655
繰延税金負債	551,335	513,146
その他	413,010	384,774
固定負債合計	5,878,846	5,537,635
負債合計	14,392,420	13,159,018

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	940,000	940,000
資本剰余金	650,000	650,000
利益剰余金	6,556,475	7,527,185
自己株式	△57,732	△57,254
株主資本合計	8,088,743	9,059,930
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,164,404	1,204,765
為替換算調整勘定	289,556	152,151
その他の包括利益累計額合計	1,453,960	1,356,917
純資産合計	9,542,704	10,416,848
負債純資産合計	23,935,124	23,575,867

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成28年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成29年3月31日)
売上高	28,522,769	28,254,915
売上原価	21,598,846	20,707,234
売上総利益	6,923,922	7,547,681
販売費及び一般管理費	5,911,406	5,937,750
営業利益	1,012,516	1,609,930
営業外収益		
受取利息	340	656
受取配当金	14,628	14,447
受取賃貸料	9,775	13,899
受取手数料	17,889	34,184
売電収入	12,519	13,106
為替差益	—	117,517
雑収入	23,114	36,443
営業外収益合計	78,269	230,254
営業外費用		
支払利息	80,826	57,298
為替差損	83,381	—
持分法による投資損失	3,999	25,393
雑損失	15,862	9,221
営業外費用合計	184,069	91,912
経常利益	906,716	1,748,272
特別利益		
固定資産売却益	8,466	3,874
投資有価証券売却益	30,305	2,387
受取賠償金	550	—
補助金収入	72,947	11,296
特別利益合計	112,270	17,558
特別損失		
固定資産除却損	4,160	1,162
固定資産売却損	1,658	487
減損損失	254,666	—
特別損失合計	260,485	1,649
税金等調整前四半期純利益	758,501	1,764,180
法人税、住民税及び事業税	562,831	782,179
法人税等調整額	△184,715	△99,859
法人税等合計	378,116	682,320
四半期純利益	380,385	1,081,860
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	380,385	1,081,860



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成28年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成29年3月31日)
四半期純利益	380,385	1,081,860
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△112,835	40,361
為替換算調整勘定	△111,879	△150,218
持分法適用会社に対する持分相当額	—	12,813
その他の包括利益合計	△224,715	△97,043
四半期包括利益	155,670	984,817
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	155,670	984,817
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成27年7月1日 至 平成28年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	水産 練製品・ 惣菜事業	きのこ事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	24,811,741	3,342,307	28,154,048	368,720	28,522,769	—	28,522,769
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	1,927,931	1,927,931	△1,927,931	—
計	24,811,741	3,342,307	28,154,048	2,296,651	30,450,700	△1,927,931	28,522,769
セグメント利益	620,444	302,239	922,683	82,147	1,004,830	7,685	1,012,516

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない運送事業、倉庫事業セグメントであります。  
 2 セグメント利益の調整額7,685千円は、主にセグメント間取引消去であります。  
 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「きのこ事業」セグメントにおいて、254,666千円の減損損失を計上しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成28年7月1日 至 平成29年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	水産 練製品・ 惣菜事業	きのこ事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	24,514,381	3,385,064	27,899,446	355,468	28,254,915	—	28,254,915
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	1,959,395	1,959,395	△1,959,395	—
計	24,514,381	3,385,064	27,899,446	2,314,864	30,214,310	△1,959,395	28,254,915
セグメント利益	1,131,439	359,383	1,490,822	112,666	1,603,489	6,440	1,609,930

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない運送事業、倉庫事業セグメントであります。  
 2 セグメント利益の調整額6,440千円は、主にセグメント間取引消去であります。  
 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。